

2 指導案例

「少子化が起きた経緯を考えよう」（本時 4 / 17）

(1) 本時の目標

- ・少子化が起きる理由を調べ、意見交流することで、少子化が起きた経緯を理解することができる。

【知識・技能】

- ・少子化の問題点から課題を設定し、よりよい社会を実現しようとしている。

【思考・判断・表現】

(2) 準備・資料

- ・教師：ワークシート，タブレット端末，プロジェクタ，スクリーン，授業用支援ソフト
- ・生徒：教科書，前時のワークシート

(3) 学習過程

時間	学習活動 個：個人 班：班 斉：一斉	教師の支援・留意点 ☆評価規準
つかむ 5分	1 前時の学習内容を振り返る。 ・少子化による問題点の方が多いね。 ・少子化はこれ以上進んでほしくないな。 斉	・一人1台のタブレット端末を用意する。 ・前時に少子化の現状について、授業用支援ソフトウェアにまとめた意見を、学習者用タブレット端末を使って共有する。少子化のよい点と悪い点を確認し、少子化に歯止めをかけたい思いを共有する。
広める 20分	2 少子化が起きる理由を考える。 ・結婚しない人が増えたから。 ・子どもを産まなくなったから。 斉 3 少子化が起きる理由を調べ、発表する。 個 斉 ＜結婚しない理由＞ ・結婚に対する価値観の変化。 ・未婚化が進んだ。 ・女性の社会進出が進んだ。 ・一人の時間を楽しみたい。 ＜子どもを産まない理由＞ ・出産に対する価値観の変化。 ・晩婚化，晩産化。 ・育児と仕事を両立する環境が整っていない。 ・子育てにかかる経済的な負担が大きい。 ・夫の子育てへの不参加。	・生徒の意見に対して、「なぜ，結婚しないのか」等と問い返すことで，少子化が起きる詳しい理由を知りたいという思いを育む。 ・授業用支援ソフトウェアを用いて，項目ごとにまとめた意見を学習者用タブレット端末に映し，少子化が起きた理由を明確にする。 ・昔は少子化が起きていなかったことを押さえることで，少子化が起きた経緯について知りたいという思いを育む。
深める	少子化が起きた経緯を考えよう 4 今と昔の生活様式の違いを話し合う。 班 斉	
		・主に家事を担当している人や，今と昔の生活様式の違いを振り返ることで，少子化が起き

20分	・昔は、男性は働いてお金を稼ぎ、女性が家を守っていたが、今は大学に行ったり、働いたりする女性が多くなった。 ・学習塾や習い事にお金がかかる。 ・昔は主に育児は女性がしていたが、今は、男性も育児休暇を取れるようになった。しかし周りの理解が得られず、取得率は低い。 ・昔は祖父母がいる三世代家族で、みんなで子育てをしていた。今は核家族化が進み、親だけで子育てをしており、負担が増えた。 ・昔は近所の人と協力しないと生活できなかったが、今は情報化が進み、周りとながらなくても生活できるようになった。	た背景を考える。また、現在も主に女性が家事を行い、育児をしていることを知るために、日本男性が家事に携わる時間が他国と比べ少ないことや、イクメンをしている人の体験談を教科書で確認する。 ・人気アニメの家族を例に、昔と家族形態が変わり、今は核家族が増えたことを押さえ、それによる育児への関わり方に違いがあるかを考える。 ☆少子化に歯止めがかからない経緯が分かったか。 (話し合いの様子、ワークシート、発表の様子) 【知】
活用する・まとめる 5分	5 本時のまとめをし、意見を発表する。 個 斉 ・子育てにはお金がかかる。子育てしやすい環境が整ってくれないと、安心して産めない。 ・女性が家庭をもっても働きやすい環境ができるといい。会社はもっと男性の育児休暇を取れるようにし、行政は子育てしやすい環境をつくり、地域は子育て家庭に協力できるといい。	・ワークシートに、授業のまとめを書くように指示する。 ・今までの生活を振り返り、よりよい社会を望もうとする思いを育むために、友達の意見を聞く場をつくる。 ・ワークシートを写真で撮影し、データにして教師に送るように指示する。 ☆よりよい社会に向けて、解決すべき少子化の課題を設定しているか。 (ワークシート、発表の様子) 【思】

(4) 評価

・少子化が起きる理由について調べたり、分かったことを基に意見交流したりすることで、少子化に歯止めがかからない経緯を理解しているか。

(調べ学習の様子、ワークシート、発表の様子)

【知識・技能】

・少子化についての調べ学習や意見交流から問題点を見出し、それらを解決するために課題を設定し、よりよい社会の実現に向けて取り組もうとしているか。

(ワークシート、発表の様子)

【思考・判断・表現】